



町なかでホッと一息

商店街に誰でも座れる椅子ができました

牛柄のかわいらしいペイントが施された椅子が5月16日本町商店街の各所に設置されました。

きっかけは平成29年度から実施しているまちづくりカフェの中で、高齢者が町中散歩や駅周辺から病院まで歩く際に、一休みできる場所がなく「誰でも気軽に座れる椅子があったらいいのに」との参加者のつぶやきから、椅子プロジェクトが始動。

廃校の椅子を活用して、町民有志10名がペイントを施し、八雲らしい牛柄に仕上げました。

設置当日はプロジェクトメンバーが牛のかぶり物をするなど、趣向を凝らしながら協力店12店舗の前に計24脚の椅子を設置しました。



広大な牧草地で大きく育て！

熱田地区 育成牧場入牧

5月18日、熱田地区育成牧場で入牧を行い、預託牛の体重測定が行われました。

八雲町の風物詩であるこの入牧は、4月27日から開始され、17戸の酪農・畜産農家から生後6ヵ月～24ヵ月までの未經産牛約230頭が預託されました。

牛たちは、広大な牧草地で10月末まで放牧され、平均140kgほど成長した後、飼い主のもとに帰っていきます。



放課後子ども教室

「あんどるーむ」でマスクを作りました

今年4月から町主催で開催している熊石地域放課後子ども教室「あんどるーむ」で、4月24日にマスクづくりが行われました。

この日は、熊石小学校の児童15名とボランティアスタッフ等4名が参加し、はじめに熊石総合支所保健師による「新型コロナウイルス感染症」についての講話があり、マスクの大切さについて説明を受けた後、自分たちの手で型紙から型を取り、大人用1枚、子ども用1枚のマスク2枚を作りました。参加した児童は、「家に帰って家族にプレゼントする」と話していました。

